



2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社 丸山製作所
 コード番号 6316 URL <http://www.maruyama.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 内山 剛治
 (氏名) 高取 亮
 TEL 03-3252-2271

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	28,776	17.9	1,591	169.1	1,589	186.6	912	193.8
2020年9月期第3四半期	24,406	2.9	591	138.7	554	142.1	310	126.4

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 1,170百万円 (391.5%) 2020年9月期第3四半期 238百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	193.87	
2020年9月期第3四半期	65.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	36,508	16,930	46.4
2020年9月期	32,733	16,042	49.0

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 16,930百万円 2020年9月期 16,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期				35.00	35.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	7.5	1,350	58.3	1,300	70.4	800	23.4	171.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2・四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期3Q	5,029,332 株	2020年9月期	5,029,332 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年9月期3Q	368,264 株	2020年9月期	296,821 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期3Q	4,705,013 株	2020年9月期3Q	4,763,535 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。企業予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響が継続し、変異株による感染再拡大傾向など不透明感の強く残る状況となっております。一方、ワクチン接種率の向上により個人消費及び企業収益は持ち直しの動きが見られ、政府による経営継続補助事業などの各種政策の効果の兆しもみられました。海外経済におきましても、ワクチン接種率の高い先進国では回復がみられますが、接種率の低い発展途上国では引き続き感染症の影響により、経済活動が抑制されるなどの厳しい状況が続いております。

当社グループが主力とする農林業用機械業界におきましては、機械の出荷・生産実績が、国内・輸出向けとも前年同四半期より増加するなど、各種政策の効果がみられました。

このような状況において当社グループは、国内におきましては、経営継続補助金政策効果による販売増に対応するとともに、サプライチェーンにおける調達リスクを最小限に抑える活動をしてまいりました。海外におきましては、コロナ禍の影響による世界的なコンテナ物流の混乱に対応し、販売機会損失の回避に努めました。

これらの結果、国内におきましては、アグリ流通において、大型機械やセット動噴の売上が増加した結果、国内売上高は23,080百万円（前年同四半期比22.2%増）となりました。また、海外におきましても、工業用ポンプは減少しましたが、欧州向け、中南米向けの刈払機の増加などにより、海外売上高は5,695百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、当第3四半期連結累計期間の売上高合計は28,776百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

利益面では、売上総利益の増加などにより、営業利益は1,591百万円（前年同四半期比169.1%増）、経常利益は1,589百万円（前年同四半期比186.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は912百万円（前年同四半期比193.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 農林業用機械

国内におきましては、大型機械やセット動噴を中心に増加いたしました。また、海外におきましても、刈払機が増加したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は22,653百万円（前年同四半期比24.6%増）、営業利益は1,841百万円（前年同四半期比179.5%増）となりました。

② 工業用機械

国内におきましては、部品が減少しましたが、洗浄機が増加いたしました。海外におきましては、北米、欧州向けの工業用ポンプが減少した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は4,169百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業利益は763百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

③ その他の機械

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は1,809百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益は77百万円（前年同四半期比27.3%減）となりました。

④ 不動産賃貸他

不動産賃貸他の売上高は364百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は205百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は36,508百万円となり、前連結会計年度末より3,774百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金の増加（1,261百万円）、商品及び製品の増加（1,147百万円）、流動資産その他に含まれる未収入金の増加（610百万円）などによるものであります。

負債総額は19,577百万円となり、前連結会計年度末より2,885百万円増加いたしました。これは支払手形及び買掛金の増加（1,019百万円）、電子記録債務の増加（2,010百万円）などによるものであります。

純資産総額は16,930百万円となり、前連結会計年度末より888百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどによる利益剰余金の増加（746百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（212百万円）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月12日に公表の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年7月30日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により当該予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,544	4,414
受取手形及び売掛金	5,278	6,540
電子記録債権	2,698	3,163
商品及び製品	5,386	6,534
仕掛品	259	247
原材料及び貯蔵品	1,942	2,381
その他	808	1,329
貸倒引当金	△10	△17
流動資産合計	20,906	24,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,118	3,401
土地	2,619	2,610
その他(純額)	1,922	1,742
有形固定資産合計	7,660	7,754
無形固定資産	214	125
投資その他の資産		
投資有価証券	3,141	3,346
その他	831	713
貸倒引当金	△21	△23
投資その他の資産合計	3,952	4,035
固定資産合計	11,827	11,914
資産合計	32,733	36,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,268	3,287
電子記録債務	6,118	8,129
短期借入金	580	3,402
未払法人税等	254	459
賞与引当金	449	569
製品保証引当金	85	136
その他	1,153	1,030
流動負債合計	10,910	17,014
固定負債		
長期借入金	3,294	150
退職給付に係る負債	2,165	2,192
その他	321	220
固定負債合計	5,781	2,563
負債合計	16,691	19,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,512	4,514
利益剰余金	6,333	7,079
自己株式	△463	△581
株主資本合計	15,033	15,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,044	1,257
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	34	54
退職給付に係る調整累計額	△70	△45
その他の包括利益累計額合計	1,008	1,266
純資産合計	16,042	16,930
負債純資産合計	32,733	36,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	24,406	28,776
売上原価	18,034	20,969
売上総利益	6,372	7,806
販売費及び一般管理費	5,781	6,214
営業利益	591	1,591
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	62	64
為替差益	—	32
その他	21	49
営業外収益合計	90	147
営業外費用		
支払利息	46	38
金融関係手数料	36	67
その他	44	43
営業外費用合計	127	149
経常利益	554	1,589
特別利益		
固定資産売却益	27	26
その他	—	0
特別利益合計	27	26
特別損失		
固定資産処分損	6	7
投資有価証券評価損	47	102
その他	—	0
特別損失合計	54	109
税金等調整前四半期純利益	527	1,506
法人税等	217	593
四半期純利益	310	912
親会社株主に帰属する四半期純利益	310	912

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	310	912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	212
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△41	20
退職給付に係る調整額	19	25
その他の包括利益合計	△72	257
四半期包括利益	238	1,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238	1,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については、2021年7月8日に緊急事態宣言が発令されたものの、当社グループの事業に与える影響は軽微であるとの予想のもと、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,188	4,425	1,646	146	24,406	—	24,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	220	220	△220	—
計	18,188	4,425	1,646	366	24,626	△220	24,406
セグメント利益	658	773	106	209	1,748	△1,156	591

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,653	4,169	1,809	144	28,776	—	28,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	219	219	△219	—
計	22,653	4,169	1,809	364	28,995	△219	28,776
セグメント利益	1,841	763	77	205	2,887	△1,296	1,591

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。